

# 知事より職員の方へ

<2期目の県政運営にあたって>

平成19年4月10日

知事 梶山 昭彦

三重県知事として2期目の県政にのぞむにあたり、職員の皆さんへ、今後の県政運営に対する私の思いをお伝えします。

## ○「質の行政改革」という新しいステージ

「行政改革推進法」の成立や「骨太の方針2006」の閣議決定等を受け、地方自治体は行財政運営の一層の効率化、簡素化を迫られています。

一方、社会のゆがみを感じさせる事件や事故の続発、格差問題の深まりなど、県政を取り巻く課題はますます多くなっています。

県政は今、県民の皆さんからの信頼基盤を一層確立するとともに、新たな県政の流れを着実に進め、未来へのチャンスをより確実なものにする、まさに正念場にあります。

私は、今後、「文化力」に基づく政策を、「新しい時代の公」にふさわしい進め方で展開し、「質の行政改革」という県政の新しいステージを本格的に推進していくことによって、公共サービスの水準を維持し、さらには向上させていく道を切り拓きたいと考えています。

## ○礎（いしずえ）としての「経営品質」

「質の行政改革」を職員一人ひとりの意識という側面からささえるのが「経営品質」です。常に県民の視点から継続的改善を進める経営品質のマインドが、改革に必要な「発想の転換」、「感性」、「チャレンジ精神」などの礎（いしずえ）となります。

皆さん一人ひとりが「行動基軸」を胸に刻み、「経営品質」の実践を重ねることによって、ぜひとも「質の行政改革」という新しいステージを実り多きものにしていただきたいと、心より期待しています。特に、この4月から新たに入庁された職員は、「行動基軸」をしっかりとして受けとめてください。

## ○第二次戦略計画のスタート

本年度は、「県民しあわせプラン・第二次戦略計画」の大事なスタートの年です。

私は、「地域主権の社会」の実現をめざし、戦略計画に基づく施策・事業、そして重点的な取組を、先頭に立って着実に進めていく決意です。

## 職員一人ひとりの行動基軸

### ① 信頼される公務員をモットーにします。

法令を遵守し、「公平・公正・透明」を基本に、誰のため、何のための県政かを常に素直に考え、感性を高め、県民の皆様の要望や意見に、真摯に対応します。

### ② 対話を促進します。

笑顔の対話を職場の風土とし、チームワークを高めます。一人ひとりの気づきと納得に基づき、率先実行取組を着実に実行します。

### ③ 工夫して不断の改善に努めます。

常に求めて学び、互いに切磋琢磨します。これまでやってきたことに批判眼をもって取り組み、日常業務において不断の努力を積み重ね、改善していきます。

特に、幹部職員は、常に使命を自任し、職員の先頭に立って情熱と勇気・気概を示すと共に、所管する組織の行政能力を最高に発揮できるようリーダーシップを果たします。また、この行動基軸の定着の第一歩として、全職員があいさつ、整理整頓を励行し、明るい職場づくりに努めます。三役・幹部職員はそれを率先垂範します。